



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスティック

コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年3月21日～平成25年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,355	5.8	214	△17.8	231	△3.9	137	1.3
25年3月期第2四半期	1,281	1.6	260	8.8	240	10.8	135	8.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	100.76	—
25年3月期第2四半期	99.43	—

(注)当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	3,545		3,088		87.1
25年3月期	3,426		3,019		88.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,088百万円 25年3月期 3,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	50.00	50.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)期末の配当金については、平成25年9月21日を効力発生日として普通株式1株を普通株式100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	14.1	510	12.1	514	△0.7	293	0.1	215.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	1,471,000 株	25年3月期	1,471,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	111,300 株	25年3月期	111,300 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	1,359,700 株	25年3月期2Q	1,359,700 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(株式分割に伴う遡及修正値)

当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の配当状況につきましては、以下のとおりになります。

基準日:平成25年3月期 期末 50円00銭 年間合計 50円00銭

基準日:平成26年3月期 期末 45円00銭 年間合計 45円00銭

なお、1株当たり(予想)当期純利益については、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による景気浮揚策の実質的効果が未だ実感できない状況ではありますが、景況感としては回復傾向にあり、今後そのスピードがどう加速していくかに期待が持てる状況にあります。

世界経済におきましては、米国の財政問題が世界経済に対する新たなリスクとして浮上しておりますが、アジア地域におきましては堅調な経済環境を示しており、総じて景気は上向き傾向が継続しています。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、国内市場では円安効果等による設備投資の拡大について、第2四半期後半より徐々にその兆しが見え始めており、楽観視するには性急ですが今後より一層の需要拡大に期待が持てます。

また、海外市場では第1四半期に引き続きタイ市場の堅調さに加え、中国市場でも堅調な動きが出てきております。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高1,355百万円(前年同四半期比5.8%増)、営業利益214百万円(前年同四半期比17.8%減)、経常利益231百万円(前年同四半期比3.9%減)、四半期純利益137百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、3,545百万円と前事業年度末比118百万円の増加となりました。

これは流動資産については、仕掛品などの減少があったものの、現金及び預金の増加の影響により2,704百万円と前事業年度末比92百万円の増加となり、固定資産については、840百万円と前事業年度末比25百万円の増加となったことによるものです。

##### (負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、456百万円と前事業年度末比49百万円の増加となりました。

これは主に買掛金が65百万円増加した一方、未払法人税等が16百万円減少したことなどによるものです。

##### (純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、3,088百万円と前事業年度末比68百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が69百万円増加したことなどによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,104百万円となり、前事業年度末に比べて198百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは287百万円の収入(前年同四半期は39百万円の支出)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益231百万円、売上債権の減少額46百万円、たな卸資産の減少額79百万円、仕入債務の増加額65百万円などの増加要因があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは25百万円の支出(前年同四半期は22百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出23百万円などの減少要因があったことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは68百万円の支出(前年同四半期は61百万円の支出)となりました。

これは、配当金の支払額68百万円の減少要因があったことによるものです。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績につきましては、概ね年初計画に近い状況で推移しており、現在の状況から判断して、今後も当初予想の範囲内で推移するものと見込んでおりますので、平成25年4月26日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	956,618	1,155,432
受取手形及び売掛金	1,004,717	957,855
製品	66,695	58,029
原材料	375,479	362,981
仕掛品	157,940	99,985
その他	71,740	74,835
貸倒引当金	△21,117	△4,620
流動資産合計	2,612,074	2,704,498
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	96,235	108,565
有形固定資産合計	509,475	521,805
無形固定資産	5,526	4,890
投資その他の資産		
その他	301,470	315,551
貸倒引当金	△1,548	△1,548
投資その他の資産合計	299,921	314,002
固定資産合計	814,923	840,699
資産合計	3,426,998	3,545,198
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	75,064	140,167
未払法人税等	121,000	104,241
賞与引当金	24,526	29,273
役員賞与引当金	—	10,000
その他	90,321	71,884
流動負債合計	310,911	355,566
固定負債		
退職給付引当金	96,335	101,211
固定負債合計	96,335	101,211
負債合計	407,246	456,777

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	2,038,320	2,107,337
自己株式	△217,684	△217,684
株主資本合計	3,017,385	3,086,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,365	2,017
評価・換算差額等合計	2,365	2,017
純資産合計	3,019,751	3,088,420
負債純資産合計	3,426,998	3,545,198

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
売上高	1,281,541	1,355,620
売上原価	772,031	877,347
売上総利益	509,510	478,273
販売費及び一般管理費	248,988	264,094
営業利益	260,522	214,178
営業外収益		
受取利息	276	392
受取配当金	785	762
為替差益	—	7,191
デリバティブ評価益	—	7,870
その他	620	743
営業外収益合計	1,682	16,960
営業外費用		
為替差損	20,202	—
雑損失	—	101
その他	1,600	—
営業外費用合計	21,802	101
経常利益	240,401	231,037
税引前四半期純利益	240,401	231,037
法人税、住民税及び事業税	102,690	99,477
法人税等調整額	2,523	△5,441
法人税等合計	105,213	94,035
四半期純利益	135,188	137,001

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	240,401	231,037
減価償却費	8,942	11,617
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,242	△16,497
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,545	4,747
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,000	10,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,262	4,876
受取利息及び受取配当金	△1,062	△1,155
為替差損益 (△は益)	17,005	△4,672
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,600	△7,870
売上債権の増減額 (△は増加)	△37,674	46,862
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△122,511	79,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	35,528	65,103
その他	△29,399	△20,810
小計	138,881	402,358
利息及び配当金の受取額	972	1,445
法人税等の支払額	△178,911	△116,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,058	287,676
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△1,404	△23,200
無形固定資産の取得による支出	△790	△212
投資有価証券の取得による支出	△2,378	△2,358
関係会社貸付けによる支出	△15,600	—
関係会社出資金の払込による支出	△2,721	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,894	△25,771
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△61,041	△68,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,041	△68,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,705	4,912
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△139,699	198,813
現金及び現金同等物の期首残高	853,895	905,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	714,195	1,104,432

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

当社は、平成25年5月7日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年9月21日を効力発生日として、株式分割の実施及び単元株制度を採用いたしました。

## 1 株式分割及び単元株制度の採用目的

単元株式数(売買単位)を100株に統一することを目的として全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」(平成19年11月27日付)及び「売買単位の100株と1,000株への移行期限の決定について」(平成24年1月29日付)の趣旨に鑑み、当社株式分割の実施及び単元株制度を採用いたしました。

なお、本株式分割及び単元株制度の採用にともなう投資単位の実質的な変更はございません。

## 2 株式分割の概要

## (1) 分割の方法

平成25年9月20日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主が有する当社普通株式を1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

## (2) 分割により増加した株式数

①株式の分割前の発行済株式総数	14,710株
②株式の分割により増加した株式数	1,456,290株
③株式の分割後の発行済株式総数	1,471,000株
④株式の分割後の発行可能株式総数	5,000,000株

## (3) 株式分割の日程

基準日の公示日	平成25年9月5日
基準日	平成25年9月20日
効力発生日	平成25年9月21日

## 3 単元株制度の採用

## (1) 新設した単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

## (2) 新設の日程

効力発生日	平成25年9月21日
-------	------------

## 4 その他

当該株式分割が当事業年度の開始の日に行われていたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)
1株当たり四半期純利益	99円43銭	100円76銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。